

金メダリストの技を間近で体感しよう！ 水谷隼さんの卓球イベントに600人

2020東京オリンピックの金メダリストで、現在はタレントとしても活躍する水谷隼さんを招いた卓球イベントが、9月27日に伊予三島運動公園体育館でありました。

水谷さんは、参加した老若男女600人の卓球ファンに世界で戦った技術を披露。また、小中学生選手とのハンディキャップマッチやゲストプレイヤーとのエキシビションマッチも行われ、参加者たちは間近でプロの技術を体感しました。



市内の小中学校では、2学期から学校給食米「うまそだち」の新米が提供されています。

9月22日には、大西市長が母校である川之江小学校を訪問し、児童たちと一緒に新米給食を食べました。児童たちは「モチモチしてる！」「いつもの2倍おいしい！」と



「うまそだち」の新米が登場！ 大西市長・河村教育長が給食で交流

大絶賛。伊予美人など地元食材を使ったおかずと共に新米の味を楽しみながら、市長との会話に花を咲かせました。

また、別の日には河村教育長が土居小学校と松柏小学校を訪れ、児童たちと給食を囲んだ後、絵本を読み聞かせやケイドロで交流を深めました。

その日の前に 川之江高校で地域合同の防災訓練



10月4日、市内各地で防災訓練が行われ、安全確保行動や避難所までの経路確認などを実施しました。

川之江高校で行われた訓練には、同校の生徒や地域住民約500人が参加。体育館に開設された避難所や煙体験コーナーなどを通じて、災害時に予想される状況や必要な対応について学びました。

知って測って味わおう 健康まつりでレシピコンテスト開催



10月5日、楽しみながら健康を考えるイベント「健康まつり」が市役所市民交流棟で開催されました。

各種健康チェックや体験コーナーに加え、今年は市内の中学生が参加した「野菜」をテーマにしたレシピコンテストの最終審査が行われ、考案者たちは作品に込めた思いを審査員に伝えました。

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、ホームページ「まちの話題」に掲載しています



9月30日、本市は地域の防災力向上や災害時の円滑な支援体制確立のため、全国で防災教育などを手掛ける損害保険ジャパン株式会社と災害協定を締結しました。これにより、防災意識の啓発や知識の普及のほか、災害時には同社の調査機器を活用した情報収集支援などが行われます。

災害に備えて連携体制を構築 損保ジャパンと災害協定を締結

9月22日、本市は空き家の発生を抑制するため、空き家問題の専門家である全国古民家再生協会及び全国空き家アドバイザー協議会愛媛県四国中央支部と連携協定を締結しました。これにより、空き家の活用や適正管理などの取り組みを、官民が連携して強化していきます。

空き家の発生抑制や利活用を官民で推進 空き家問題の専門家2団体と市が協定

今治精華高校1年の田邊楓真さん（川之江町）が、8月に東京都文京区の講道館で開催された「全国高等学校柔道通信制体育大会・柔道大会」で、準優勝を果たしました。

祝 全国大会準優勝 柔道 田邊楓真さんが快挙

7月27日の第18回書道パフォーマンス甲子園では、数々の名シーンが観客を魅了しました。その感動を振り返る写真展が、9月から10月に掛けて川之江信用金庫で開催されました。高校生たちが青春を懸けて挑んだ熱い夏を切り取った22点の写真は、訪れた人々の心に再び深い感動を呼び起こしました。

感動をもう一度 書道の甲子園写真展を開催

8月に愛知県で開催された「全国ダンスコンテスト」で、金生町下分のダンススタジオ・ミューに所属する「ミュータントフェローズ」が、最優秀賞を獲得しました。

祝 ダンス日本一 ミュータントフェローズが最優秀賞

川之江北中学校1年の坂東来実さんが、8月に東京都で開催された「全国スポーツウエールネス吹矢ジュニア大会」で、準優勝の成績を収めました。

祝 全国大会準優勝 スポーツ吹き矢 坂東来実さんが快挙



日本スポーツマスターズ愛媛大会 空手道 篠原哲也さんが出場

9月20日から本県で開催された35歳以上のスポーツの祭典「日本スポーツマスターズ」の空手道競技に、篠原哲也さん（妻鳥町・拳龍会拳士塾所属）が出場しました。

大会直前の9月18日に、大西市長を表敬訪問した篠原さんは、「全身全霊で頑張ります」と力強く意気込みを語りました。



目指せ金メダル デフリンピックに進藤隆夫さんが出場

11月15日から東京都で開催される聴覚障がい者の国際総合スポーツ大会「東京2025デフリンピック」のボウリング競技に、寒川町の進藤隆夫さんが出場します。

9月8日、出場報告のため市役所を訪れた進藤さんは、大西市長や駆け付けた応援団に対し、世界の舞台での活躍を誓いました。



バレーボール U15の頂点を目指して 市内中学生チームが全国大会出場

10月に千葉県と三重県で開催されたバレーボールのクラブユースチームによる全国大会に、市内の中学生チーム「U15近畿クラブスフィードEHOME」（鈴木加乃・川上夢貴主将）が出場しました。

9月24日、大舞台を控えたメンバー16人が大西市長を表敬訪問し、大会での健闘を誓いました。



「わたしが輝く国スポ」 本市選手がスポーツの祭典で躍動

9月28日から滋賀県で開催された国民スポーツ大会に、本市から多くの選手が県代表として出場し、それぞれの競技で全力を尽くしました。

大会に先立つ9月11日には、軟式野球競技に出場する3選手が大西市長を表敬訪問し、大舞台への意気込みを力強く伝えました。

軟式野球の県代表に選出された酒井大輝さん（写真右）、尾崎亨四郎さん（同中）、石川翔太さん（同左）



全国大会を控えた10月1日、吹奏楽部の3年生25人と荒木さんは大西市長を表敬訪問し、それぞれの夢と目標に向けた意気込みを語りました。そして、「大会までの時間を大切に、練習を更に重ねて、憧れの舞台でベストパフォーマンスを発揮します」と、決意を表明しました。



吹奏楽部・卓球部 三島東中学校が全国大会に出場

8月に高知県で開催された「全日本吹奏楽コンクール」四国支部大会において、三島東中学校吹奏楽部（写真右・岩月寛奈部長）が見事金賞を受賞し、10月に栃木県で行われた全国大会への出場を果たしました。

また、同校卓球部2年の荒木陽翔さん（写真左）は、8月に松山市で行われた「JOCジュニアオリンピックカップ全日本卓球選手権大会」の県予選大会で優勝し、11月に広島県で開催される全国大会への出場が決定しました。



「力の不思議」を体験しよう 新宮小・中学校で公開授業

10月2日、新宮小・中学校で市内の児童や同校への入学を考えている園児を対象に公開授業が行われました。授業は、徳島大学の安野卓教授が講師を務め、重力や摩擦力の不思議について実験を通じて解説しました。

参加者は、大学との連携で多様な授業を実施する同校ならではの学びを体験しました。



GIGAしこちゅくを全国で紹介 川之江小学校で公開授業

9月10日、グーグル社の教育プログラムを活用した本市のICT教育を紹介する公開授業が川之江小学校で行われ、全国の教育・行政機関から約90人が参加しました。

1年生は、生成AIで画像化した友だちの良いところを紹介。教えてもらった自分の良さを伸ばす2学期の目標を考えました。

9月27日、しこちゅくホールで「かわしん感謝祭」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。川之江信用金庫（日浦博基理事長）による地域への感謝を込めたイベントには、マルシェやキッチンカーが多数出店し、会場は終日活気に包まれました。

また、市との協働企画として、はしご車の搭乗体験や地震車による地震体験が行われ、災害への備えについて考えるきっかけとなりました。



ちよつとそこまや
広報 SAMPO
地域ににぎわいと学びを
かわしん感謝祭

「野才」たっぷりの 「俊才」レシピ

いやあ、良かったなあ〜
心から絶賛できる小さなイベントを、健康まつりの中で職員が手づくりで開いてくれた。

第1回四国中央市長杯「野菜たっぷりレシピコンテスト」には、市報などの告知に呼応して、市内の中高生年齢の個人やグループによる82作品の応募があった。

ルールは、①県内で採れる野菜を2種類以上使用、②応募は1組1レシピと至って簡単なもの。野菜には、塩分（ナトリウム）を体外に排出する働きがあり、野菜を多く摂ることが高血圧予防につながることから、「高血圧ゼロしこちゅくまちづくりプロジェクト」の一環として初開催された。

予選審査を通過した6つのレシピについて、10月5日に市民交流棟でプレゼン&実食の公開審査が行われ、食生活改善推進員やJA組合長らとともに5人の審査員に加えてもらった。応募用紙はいずれも、創意工夫と熱い思いに満ちたアナログ感満載の手書きレシピ。高血圧予防は他人事ではないだけに、実食には特に気合いが入った。最優秀賞は、「みかん香る彩りか



き揚げ」を考案した川之江北中1年生の作品。里芋、玉葱、人参、コーンにみかんの皮が香りを添える。不謹慎ながら、どうしても「晩酌」の二文字が頭にちらつく。

優秀賞に選ばれた「野菜たっぷり無水力レー」、「トマトと玉葱の万能ダレ」と、特別賞の「なんちゃってポテトサラダパフェ」、「白ゴーヤと野菜たっぷり肉詰め」、「伊予美人とゴーヤの串揚げサラダ」も、一週間の日替わりメニューとして暫く繰り返してもらっても満足感が保たれること請け合いで、まさに野才に溢れる俊才ぞろいだ。

今回の試みで何よりも素晴らしいのは、行政課題を市民目線で投げかけた企画に、次代を担う子どもたちが素直に楽しんで参画してくれたことである。これからもこうした小さな協働の感激を積み重ねていきたいものだ。

食材や副賞の協賛を始め、ご協力いただいた各団体、そして今回も健康まつりの各コーナーを盛り上げていただいた皆さまに心から感謝申し上げます。